

第十五課



単語

- アルバイト
- 捜す 探す
- 先生は君を探していたよ。
- 李さんは仕事を捜している。
- 働きたいので、仕事を捜しています。
- センター

単語

■ 申し込む

- 王さんは彼女の家に正式に結婚を申し込んだ。
- わたしは社長に面会を申し込みました。
- わたしは労働組合の加入を申し込んだ。

単語

- 旅行に参加したい人は金曜日までに申し込んでください。
- 職員 社員
- 住所
- 連絡先
- 特技

単語

- 算盤
- 学科
- 体験(体験する)
- 時給 日給(につきゅう)
- 月給(げつきゅう) 年給制
- 交通費
- 連絡
- 知らせる 知らせ

単語

- 紹介 自己紹介
- 丁寧
- どういう
- この単語はどういう意味ですか。
- 「源氏物語」はどういう本ですか。
- 専攻 専門 ～科
- 志望 志望者
- 動機

単語

■ 応募 応募者

■ 理由

■ 金

■ 実力

■ 募集 留学生を募集する。

■ 志望者を募集する。

■ 広告

■ 翻訳

単語

■ どうして なぜ

■ 結構

■ ①褒めるときや賛成のときに使う——>立派、いい

■ 例：結構なお家ですね。

■ 「味はいかがですか。」「結構です、とてもおいしいです。」

単語

- 「土曜日に映画を見に行きませんか。」「結構です。行きましょう。」
- ②かまわない、大体役に立つ。
- 例：「お茶をさしあげましょうか。」
「水で結構です。」
- 「大阪までの特急券がありますか。」「グリーン車ならあります。」「結構です、それを一枚ください。」

単語

- ③ 要らない、またはなくてもいい
- 例: 「コーヒーをもう一杯いかがですか。」 「もう結構です。」
- 「車でお送りしましょう。」 「いいえ、結構です。近いから歩いて帰ります。」

単語

- 「お酒をお持ちしましょうか。」「お酒は結構で、ご飯にしてください。」
- ④十分
- 例：まだ時間がありますから、歩いて行っても結構間に合いますよ。

ファンクション用語

- どうぞ、ご遠慮なく
- ご遠慮なく、召し上がってください。
- どうぞ、お好きなだけ。
- ご遠慮ありません。
- お口に合うかどうか、さ、どうぞ。
- ご自由にお上がりください。

ファンクション用語

■いただきます

- ～のご健康（成功、幸福）を祈って乾杯（しましょう）。
- ～の友好のために、乾杯。
- ご馳走様（でした）。

読解文

- 単語
- 職業
- 調査
- 毎年
- 中学校 中学 高校
- 社会
- 働き始める 書き始める
- 読み始める

読解文

- 社会人 ～じん(人)
- ① 国名、地名＋じん
 - 日本人 中国人 上海人
 - 南通人
- ② 部門、分野に勤めるひと

読解文

- 新聞人 映画人 知識人 文化人
- ③属性を現す
- 友人 個人 名人 老人
- ④部分形容詞に付いて
- 美人 新人
- ~にん(人)

読解文

■①数詞の後に

■ 五人 何人

■②動作的名詞の後に、ある仕事やある行為をする人を表す。

■ 見物人 弁護人 支配人

■ 病人 仲買人(なかがいにん)

読解文

■呼ぶ

■就職

■新入社員

■医者 お医者さん

■俳優 女優 男優

■アンケート

■美容師

読解文

■ コック

■ 公務員

■ 次

■ 工場

■ サラリーマン

■ 安定

■ 一生

読解文

- 働き続ける 読み続ける
- 勉強し続ける
- だいたい 大部分 ほとんど
- 大体同じです。
- 仕事は大体終わりました。
- 大体の人は自分の国で少し日本語を勉強してきました。
- 同じ

読解文

■ほとんど

■①大部分

- 病気はほとんど治った。
- この問題ができた学生はほとんどいない。
- 李さんは学校に遅れることはほとんどありません。

読解文

- ②全部ではないが全部と同じぐらいの数や量
- 品物のほとんどが壊れていた。
- 学生のほとんどがその旅行に行った。
- 火事で町のほとんどが焼けてしまった。

読解文

■ 変わる 変える

- 20年の間に、ずいぶん時代が変わりました。
- 10月からバスの停留場が変わります。
- 住所が変わったのでお知らせします。

読解文

■少ない

■技術

単元のまとめ

■ 1、文の構成単位一文素(文節)

■ (1)

■ ①独立語＋付属語

■ 体言＋助詞

■ 教室には わたしは

■ 体言＋助動詞

■ 火事だ



単元のまとめ

■ 用言＋助詞

■ 読みながら 読んでから

■ 用言＋助動詞

■ 読みたい 寒くない

■ ②独立語＋独立語

■ 用言＋体言

■ 新しい建物 きれいな花

単元のまとめ

- 用言＋用言
- 古くなる きれいになる
- 副詞＋用言
- たいへん疲れた とてもいい
- ③独立語＋付属語＋独立語
- わたしの教室 背が高い
- 机と椅子

単元のまとめ

■ (2)

■ ①主語＋述語

■ 背が高い 頭がいい

■ ②連合(名詞と名詞)

■ 机と椅子

単元のまとめ

■③目的語＋述語

■ 本を読む 写真を撮る

■④補語＋述語

■ 町へ行く 教室に入る

■⑤対象語＋述語

■ スポーツが好きだ

単元のまとめ

■⑥連体修飾語＋体言(中心語)

■ きれいな花 わたしの本

■⑦連用修飾語＋用言(中心語)

■ 寒くなる とてもきれいだ

■⑧中心語＋補助動詞

■ 読んでください 勉強しています

単元のまとめ

■ (3) 拡大な文節

- 背が高い人 机と椅子は
- 本を読むとき 飛んでいる鳥
- スポーツが好きだから
- 赤いリンゴが わたしの本だ

単元のまとめ

■ 2、文の成分

■ ①、主語

■ 普通は「が」で「主語」を表わすが、「主語が述語」の形で連体修飾語に使われる場合、「が」は「の」に替えても言い。そのほかに、「は」と「も」も「が」のかわりに、主語を提示する。

■ 学生たちが映画を見ています。

■ 試験の始まるベルが鳴りました。

単元のまとめ

- 飛行機が飛んでいます。
- 桜の花が咲いた。
- 馬はかしこい動物です。
- 比較：
 - このパンは母が焼きました。
 - この手紙は誰が書いたの？
 - 象は鼻が長いです。
 - 李さんは頭がいいです。

単元のまとめ

■②、述語

- 「述語」は文の重要な成分で、文末にある。動詞、形容詞、形容動詞はそれぞれの述語になって、違う文ができる。また、「名詞＋です(だ)」の形で、名詞型述語になる。
- 例：父は会社員です。
- 李さんは公園へ行く。

単元のまとめ

- 教室は明るい。
- 南通はきれいだ。
- 王さんは本を読んでいる。
- 教室に机がある。

単元のまとめ

■③、目的語

■ 「目的語」は他動詞が作用する対象です。普通「体言」や「～形式名詞」の後に「を」を使って、表す。

■ 例：わたしは日本語の本を読みます。

■ テレビを見ています。

■ 日本語を習う。

単元のまとめ

■④、補語

- 時間、場所、方向、手段などの成分を「補語」と言う。よく「に」、「へ」、「で」、「から」、「まで」などの助詞と使って、「補語」を表す。
- 例：わたしは上海へ行きます。
- 教室で勉強しています。

単元のまとめ

- 王さんは教室にいます。
 - 学校は9時から始まります。
 - 駅まで行きます。
- 以上の四つの成分は主な成分です。

単元のまとめ

■⑤、連体修飾語(定語)

■ 「連体修飾語」は修飾語の前に出て、一つの文にはいくつかの連体修飾語で一つを中心語を修飾することがある。動詞、形容詞、形容動詞、連体詞、名詞はみな連体修飾語に使われる。

■ 例：わたしが住んでいる宿舎は借りたのです。

単元のまとめ

- 明るい教室で日本語を勉強する。
- 静かなところで本を読んだほうがいい。
- このはなは桜と言います
- わたしのうちは上海にあります。
- そこで新聞を読んでいる人は兄です。

単元のまとめ

■⑥、連用修飾語(状語)

■ 「連用修飾語」は副詞と形容詞、形容動詞の連用形で表す。よく「用言」、「副詞」を修飾することに使われる。

■ 例：一緒に本を読んでください。

■ もっと速く読んでください。

■ きれいに消さなければなりません。

単元のまとめ

■ ⑦、対象語

- 述語に使われる用言が主体の感情、可能、願望、好悪などのような意識を表す場合、その対象は対象語といい、「が」を使って表す。

■ 例：わたしは日本料理が好きです。

■ わたしは車が欲しいです。

■ 彼は日本語ができます。

■ 李さん 上手です。

単元のまとめ

■ ⑧、独立語

■ 例：はい、そうです。

■ さあ、行きましょう。

■ ええ、そのつもりです。

■ 9、同位語

■ 例：わたしたち日本人は毎日漢字を使っています。

■ 学生の李さんは毎日遊びだけです。

単元のまとめ

■ ⑩、外位語

- 例：わたしは上海で生まれました。
- ……上海 わたしはここで生まれたのです。
- わたしは日曜日上海へ行きました。
- ……日曜日、わたしはこの日に上海へ行きました。
- 国慶節は10月1日です。
- ……10月1日 この日は国慶節です。

単元のまとめ

■ 11、挿入句

- 例：日本人は、例外もあるが、寿司が好きだ。
- その山には、行ってみたらわかることだが、珍しい植物がたくさん植えています。

単元のまとめ

3、助詞

①格助詞「より」 比較対象を表す

中国は日本より大きいです。

テニスよりバドミンントンのほうが上手です。

補足:「ほど」

日本は中国ほど大きくない。

日本語はアラビア語ほど難しくない。

単元のまとめ

②格助詞「と」 内容を表す

「日本」は「にほん」と読みますが、「にっぽん」とも読みます。

「源氏物語」という本を知っていますか。

「夏目漱石」は「なつめそうせき」と読みます。

田中さんはあした学校を休むと言っていました。

単元のまとめ

③格助詞「の」 省略を表す

これはわたしのです。

リンゴは青森のがおいしいです。

④接続助詞「から」 主観的な原因を表す

今日は寒いから、セーターを着なさい。
時間がないですから、急いでください。

単元のまとめ

⑤接続助詞「ので」 客観的な原因を表す

今日は寒いので、セーターを着ました。

頭が痛いので、早く帰ってもいいですか。(柔らかか)

単元のまとめ

⑥副助詞「だけ」 限定を表す

李さんだけお酒を飲みます。

李さんはお酒だけ飲みます。

テレビは教室だけにあります。

日本語だけで話します。

上海だけへ行きます。

あなただけが知っているでしょう。

あなただけを知っています。

単元のまとめ

⑦ 並列助詞「とか」 列挙を表す

日曜日は掃除をするとか、洗濯をするとか して過ごします。

本棚には 日本語の本とか、英語の本とか、いろいろな本があります。

単元のまとめ

4、助動詞

①否定助動詞「ない」

これはわたしの本じゃない。

今日は寒くない。

きょうは学校へ行かない。

教室に学生がいない。

あした 土曜日ですから、学校へ来なくてもいいです。

単元のまとめ

教室でタバコを吸わないでください。

学生は毎日勉強しなければなりません。

あした、宿題を出さなくてははいけません。

問題用紙を出さない人は採点しません

単元のまとめ

②願望助動詞「たい」

わたしはカメラを買いたいです。

ご飯が食べたいです。

李さんはラジカセを買いたがっています。

あなたは何を買いたいですか。

張さんはたくさんのかつことを勉強したいと思っています。

単元のまとめ

③意志助動詞「う」「よう」

速く 行こう。

わたしは日本へ留学しようと思
います。

田中さんは中国の文化を研究し
ようと思っています。

単元のまとめ

④過去助動詞「た」

昨日、町へ行った。

電話をしていた人は田中さんです。

単元のまとめ

5、形式名詞

① 形式名詞「の」

「の」は用言の後について、用言に体言化させて、体言の資格を持たせることに使われる。また、強めて説明する場合に使われる。

音楽を聞くのが好きです。

さっき電話をしていたのは李さん
です。

単元のまとめ

日本語を話すのは難しいです

財布を持ってくるのを忘れました。

どこか行くのですか。

どうして食べないんですか。

昨日、学校を休みました。病気なんです。

あなたは悪かったのです。お兄さんに謝りなさい。

単元のまとめ

②こと

- 読むことは書くことよりやさしいです。
- 知識を身につけることは重要です。
- わたしの趣味は映画を見ることです。
- わたしの趣味は本を読むことです。

単元のまとめ

■③つもり

- 来年、日本へ留学するつもりです。
- 彼女は彼と結婚するつもりで、ずっと待っていた。

■④ため

- 日本へ留学するために、日本語の勉強を始めた。
- 家族のために働かなければなりません。

単元のまとめ

■6、文型

■①・・・は・・・が・・・

■ 対象語：

■ わたしはスポーツが好きです。

■ 総主語、子主語

■ 李さんはお腹が痛い。

単元のまとめ

- 象は鼻が長い。
- ②AとBと(で) どちらが…
- …で …が一番…
- ③形容詞＋なる
- 形容動詞＋なる
- 名詞＋なる
- 動詞＋ようになる

単元のまとめ

- ④・・・も・・・も
- ⑤疑問詞＋も
- ⑥疑問詞＋でも
- ⑦・・・てはいけません
- ...なくてははいけません
- ...なければなりません
- ⑧・・・てもいいです

単元のまとめ

- …なくてもいいです
- ⑨ …てください
- …ないでください
- ⑩ …てから
- 11 …とともに
- ⑫ …という
- ⑬ …なさい